



■令和元年度優良金澤町家認定式が行われました

今年度の優良金澤町家認定式および講演会が12月7日(土)午後、彦三町家で行われました。

今回の認定は4軒、これまでに認定させていただいた町家を合わせて、優良金澤町家は135軒になりました。認定式では、2組の所有者や活用者、設計担当者へ出席いただき、直接認定証をお渡しした後、スライドを用いて認定町家の紹介やそれぞれの立場から町家を保存、活用する想いをお話いただきました。続いて、林野紀子氏(りんの設計 一級建築士事務所)による「来りものの町家暮らし」と題した講演会が行われました。



認定式の様子



講演の様子



講師の林野紀子氏

【講演概要】

林野氏は山梨県甲府市の出身で、甲府は歴史の積み重なりがなく、空襲も受けているため古い家を見ることはなく、金沢とは真逆の環境で生まれ育った。大学時代を東京で過ごし、元々は美術史を学んでいたため外国の美術館や教会、日本の寺などを見て回る学生生活を送るうちに、美術品を展示している空間、美術館が面白いと感じるようになり、その後、専攻を変えて建築を学んだ。

2007年に夫の仕事の都合で金沢へ転入し、ある友人の家に招かれ訪れたのが「金澤町家」だった。いままで見たことも聞いたこともない古い家に人が住めるということに衝撃を受け、その友人の住まい方も含め、木、テクスチャ、すべてに憧れをもち、自身も町家暮らしをしたいと思うようになった。寺町の空き町家に事務所を借り、町家の借家を自宅としたが、京都出身の夫は数寄屋造の家で育ったため、「寒い」などの理由により最初は町家暮らしを反対された。

その後、扇町にある築130年の元桶屋の町家を購入することとなる。小さくて古いがゆえに変に手が入っておらず、元の姿がよく残っていたが、売買契約の日の朝、大雪で座敷の梁が折れるなど、状態は非常に悪いものだった。町家の購入後、妊娠、出産を経て、契約の時点で梁が落ちたこともあり、そのまま放置しては町家が崩壊してしまうと思い、先輩建築士の協力を得ながら自身で改修設計を行った。改修の方針としては、元あった姿になるべく戻し、生活の場となるため水回りは更新、サッシを採用しての寒さ対策や道路に面するところは蔭障子として明るさを確保するなど工夫をし、改修の際は金沢市のこまちなみ保存の補助金を活用した。

なぜ町家を保存する必要があるのか、それは、都市居住の一つの形態として優れているのではないかと。住んでいる人とこまちなみとの関係がよくできていて、有名な建築家や都市計画者が考えたとしても再現できないし、ゼロから作ると膨大な時間と試行錯誤が必要となる。幸い、金沢は町家を活かす町の繋がりや仕組みが生きており、活かさなければもったいないと感じた。個人や家族、旅人、シェアなど、町家は一つの単位として人と町や都市との関係が作りやすいシステムなのではないかと感じた。

扇町の自邸は平入の引き戸の玄関を開けると、道との関係が近く、近所の声やその日の天気がとても密に感じられる。朝夕には子供の友達が上がり込んで来て、開かれた入りやすい土間の空間があり、密な関係が実感できる

元酒屋の空き店舗に近所の主婦が集まって、单身暮らしの高齢者向けのカフェや子供に宿題を教えるプロジェクトなども始めた。地域の方がボランティアで行う活動は、都会の真ん中でやっても上手くはいかず、町に開けた関係性をつくるのに町家が寄与していると感じる。

■金澤町家巡遊 2019 (10/19 (土)、20 (日)、22 (火祝) 開催しました

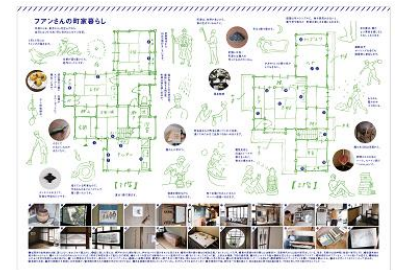
金澤町家巡遊 2019、おかげさまで無事終わることができました。ご協力、ご参加いただいたみなさまに深く感謝申し上げます。

今年は、外国から金沢に移住した方などで、金澤町家に住んでいる方や、活用されている方の建物を拝見し、お話を伺いました。みなさん予想以上に町家暮らしを満喫されていて、真似したくなる工夫やアイデアもたくさんあり、利活用の事例についてみなさまにご紹介できたと思います。

イベント期間中は多くの方に来場いただきました。金澤町家学生会議の学生たちも当日スタッフとして協力いただきました。ツアーの講師、町家公開にて担当していただいたみなさまにも大変なお力添えを賜りました。また、期間中は町家ショップの方々のご協力による展示会やワークショップなどの町家ショップイベントを開催いたしました。今後もイベントを通して金澤町家の魅力発信に尽力したいと思っております。みなさまのご指導、ご提案を今後ともよろしく願いいたします。



イベントパンフレット (外)



イベントパンフレット (内)

■金澤町家学生会議

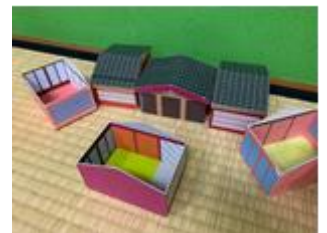
金澤町家学生会議では、学生が金澤町家を学び、自分たちの目線で魅力を発信する活動を行っています。今年は、いしかわ地域の魅力創造まちづくり事業学生の部門で採択された活動を8月に終えた後、金沢市協働のまちづくりチャレンジ事業で採択された活動の準備を進めています。小学生の参加をお待ちしております。

「ぼくらの町家タウンを作ろう！」

日程：2月1日(土)13:00~15:30 (金沢学生のまち市民交流館)

申し込み・問い合わせ先：金澤町家学生会議 (kmachiya.gakusei@gmail.com)

小学生が作った町家タウンは観音町の「カフェ&ギャラリー三味」2階で2月2日(日)、3日(月)に展示します。



■フードピア金沢2020「金澤町家スタンプラリー」&「金澤町家周遊ツアー」企画に協力します

今年もフードピア金沢のイベント企画に協力します。「金澤町家スタンプラリー」は、町家を活用している飲食店を巡るスタンプラリーです。スタンプを集めた方には抽選で賞品がもらえます。(開催期間：1/25~2/29)。「金澤町家周遊ツアー」は、金澤町家研究会メンバーのガイドで金澤町家を見学するツアーです。5コースのツアーとも、最後には町家の飲食店で昼食をお楽しみ頂けます(※要予約です)。イベントの詳細は「金沢商工会議所ホームページ」よりご覧いただくことができます。皆さまどうぞご参加ください。



金澤町家周遊ツアーの様子 (写真は昨年のツアーの様子)

■優良金澤町家紹介コーナー

◇Machiya5 (マチャファイブ、金沢市安江町18-12)

「Machiya5」は、金澤町家を改修して複数のショップや事務所などが入居しています。玄関から通り土間を渡った離れに町家ショップ「カフェ安江町ジャルダン」があります。美味しいコーヒーとスイーツ、お食事、お酒が味わえます。駅から町へ向かう途中にふらりと寄った外国人観光客の姿を時々見かけます。シェア型町家の先駆的事例です。

【カフェ安江町ジャルダン 木曜休+不定休有り、11:00~18:30 (L.O.18:00)】



Machiya5

NPO法人
金澤町家研究会

【お問い合わせ】事務局

〒920-0854 金沢市安江町4番20号

Tel. 076-254-0647 / fax. 076-254-0657

E-mail kanazawa-machiya@nifty.com <http://kanazawa-machiya.net>